

+研究課題名	神経免疫疾患患者における高次脳機能と MRI パラメータを用いた脳萎縮に関する研究
研究期間	実施許可日 ～ 2030年3月31日
研究の対象	<p>①2019年7月から実施許可日前日の間に、広島大学病院脳神経内科で診療のために頭部 MRI を受けた患者さんのうち、多発性硬化症 (MS)、視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD)、抗 MOG 抗体関連疾患 (MOGAD)、全身性炎症性疾患に伴う免疫介在性中枢神経障害、自己免疫性脳炎・脊髄炎・視神経炎等、傍腫瘍性神経症候群、免疫チェックポイント阻害薬による神経障害の患者さん</p> <p>②2019年7月から2030年3月の間に、広島大学病院脳神経内科で診療のために頭部 MRI を受けた患者さんのうち、多発性硬化症 (MS)、視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD)、抗 MOG 抗体関連疾患 (MOGAD)、全身性炎症性疾患に伴う免疫介在性中枢神経障害、自己免疫性脳炎・脊髄炎・視神経炎等、傍腫瘍性神経症候群、免疫チェックポイント阻害薬による神経障害以外の方</p>
研究の目的・方法	<p>研究目的：神経免疫疾患である MS、NMOSD、MOGAD、全身性炎症性疾患に伴う免疫介在性中枢神経障害、自己免疫性脳炎・脊髄炎・視神経炎等、傍腫瘍性神経症候群、免疫チェックポイント阻害薬による神経障害の患者さんを対象として、合成 MRI を用いて解析した脳萎縮と高次脳機能との関連を明らかにすることです。脳萎縮の評価には、これらの疾患以外の患者さんがコントロール群として必要です。</p> <p>研究の方法：広島大学病院の倫理審査で承認を得ている研究 (E2023-0201, 頭部 MRI 検査における神経疾患の特性の検討) の対象者のうち、上記「研究の対象」②に該当する患者さんをコントロール群として、MS・NMOSD・MOGAD などの患者さんの MRI パラメータと比較し、統計解析を行います。その際に上記「研究の対象」①に該当する患者さんで、当該データのある方についても統計解析の対象とします。診療録から MRI 検査結果、基本情報（年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、病歴、内服状況など）を収集します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>試料：用いません</p> <p>情報：年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、病歴、内服状況、MRI 検査結果など</p>
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を	本学における実施許可日（2019年7月1日）

開始する予定日	
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
その他	本研究で用いたデータ等は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを二次利用といいます。二次利用の際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。将来の研究に使用した場合は、本学のホームページ（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開） <a href="https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx">https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx</a> へその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 脳神経内科 担当者：助教 内藤 裕之 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5201</p>